

『家を建てるまで』 vol.5 (INCHの楽しい仲間たち vol.5)

9月7日の作業日を経て、翌8日(大安)を完成の日としました。18日に住民票を移動し、20~21日新居へ引越し。22~3日に旧居を片付けて…1年半の作業終えて新生活とさせていただきます。

- 3月:室内天井の完成、断熱材、外壁の塗装 など。
- 4月:トイレ、お風呂の壁の設置 など。
- 5月:ドアの取り付け、床材の設置 など。
- 7月:モルタルを作って、土間のタイル張り など。
- 8月:ストーブの設置、庭の石積み、整地、仕上げ など。

昨年の2月頃より、家を建てる動きを始めました。土地交渉から始まり、ログハウスのメーカーを訪れ、7月に地鎮祭。整地~基礎工事を経て、材料が届いたのは10月25日。そこから11ヶ月で家が完成し、住むことができました。

上下水道などの水回り、お風呂、屋根は専門業者に頼みました。基礎工事専門業者であるキャンプ場のオーナーの木下善晴さんをお願いしました。それ以外の全ての大工仕事に当たる部分は、ログビルダーの皆さん(棟梁:若狭浩二さん)を中心に、多くの方々の協力を経て、ついに完成しました。心より感謝申し上げます!!

住み始めてまだ1ヶ月も経ちませんが、イチからログ材を積み重ねた現場であり、雨や雪の寒い時も2週間ごとに皆さんと積み上げた現場です。そう、「現場」であるという感覚がものすごく強くて、まだまだ住まいであるということが馴染みません。完成してホッとしています、同時に皆で積み上げた現場が終わったという寂しさの方がまだまだ強いなど。



家のどの部分を見ても、皆と苦労しながら作った思い出があります。施主としてこんな幸せなことはないのだろうと実感しています。

さてさて、これから自分の成すべきことですが…感謝を胸に突っ走ることです。そう、一生冒険探検を続けていこうと思います。本当にありがとうございました!!(くろさわ)

やっとこさ出来上がりました!! 一体どれだけの人が携わっているのか…、本当に感謝しかありません。

新居に引っ越して約1ヶ月。とても暖かくてまだ薪ストーブは灯けていません。早く灯けたい気持ちもあるけれど、養魚場の親方は「寒くなればなるだけ豊かな気持ちになるから、もうちょっと待たせたら?」と酔っ払いながらアドバイスしてくれました。なので、火入れはもう少し先になりそうです。

昨年の今頃は作業の昼食では、おでんとカレーばかり食べてたなあ。

「家を建てる時は7回頭を下げるもんだ。」とは、普段からお世話になっているキャンプ場オーナーであり、我が家の建設において甚大な協力者、善さんの言葉。

土地交渉やら、挨拶やら、何やらで7回じゃ足りないよ! と思う部分もありましたが、住み始めてから頭を下げることの方が多いいことに気がきました。

「ここは吉永さんが緻密に測ってくれた床下収納で…」

「こっちは宮野さんとタイルの目地入れたところ。」

「塗装は中ちゃんがいっしょにやってくれた。」

「ログを積み前の土台の防蟻剤は松崎と塗った。」

「風除室は池田さんと善さんと黒と私の4人で積んだところ。一緒に足場の組み立てもやった凄く暑い日だった。」

「棚は小山さんと大ちゃんが作ってくれた。換気扇も付けてくれた。」

「山本さんはとても丁寧で、私の雑な作業を見ながらいつも(いや…)とか(ちょっとそれは…)と言って手直しをしてもらったところ多数!!」

「家に来た人がみんな誉めてくれる窓枠は、きらちゃんが爪を真っ黒にしながらかけてくれたもの。」

「見えないところこそ手を抜かない棟梁の若狭さんは、ネコ断熱とか、キッチンの高さとか、煙突回りも全体のことも含めての苦労とか…。」その他もろもろ、この家がどうやってできているのか知ってるからこそ、毎日感謝の連続です。まさか本当にできちゃうなんて本当に凄いことだけど、私たち夫婦だけでは絶対に無理だった(というか、家を建てようと思わなかった)から、このご縁にも感謝して謙虚に明るく少し贅沢な暮らしを楽しんでいきたいと思えます!

(はるこ)

新居に荷物を運び終えて、9月22日に旧居の掃除を冒険学校村長の雫さんと開始。「こりゃ終わらん(><)」と、翌日が祝日なのでヘルプを求めたところ、7人も集まってくれました。雫さん、まーしー、おのちゃん、大ちゃん、ひるまん、翔ちゃん、母上、本当にありがとう!!